

## 令和2年（2020年）の八丈島の火山活動

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

### ○噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2020年の発表履歴

2020年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------------	----------------------------

### ○2020年の活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1）

楊梅ヶ原<sup>ようめがはら</sup>監視カメラ（西山山頂の南南東約5km）による観測では、西山山頂部に噴気は認められません。

#### ・地震や微動の発生状況（図2-①②、図3）

火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。

火山性微動は観測されていません。

#### ・地殻変動の状況（図2-③、図4）

GNSS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

この資料は気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧できます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、『数値地図50mメッシュ（標高）』『数値地図25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を使用しています。



図1 八丈島 山頂部の状況 (12月11日 楊梅ヶ原<sup>ようめがはら</sup>監視カメラによる)

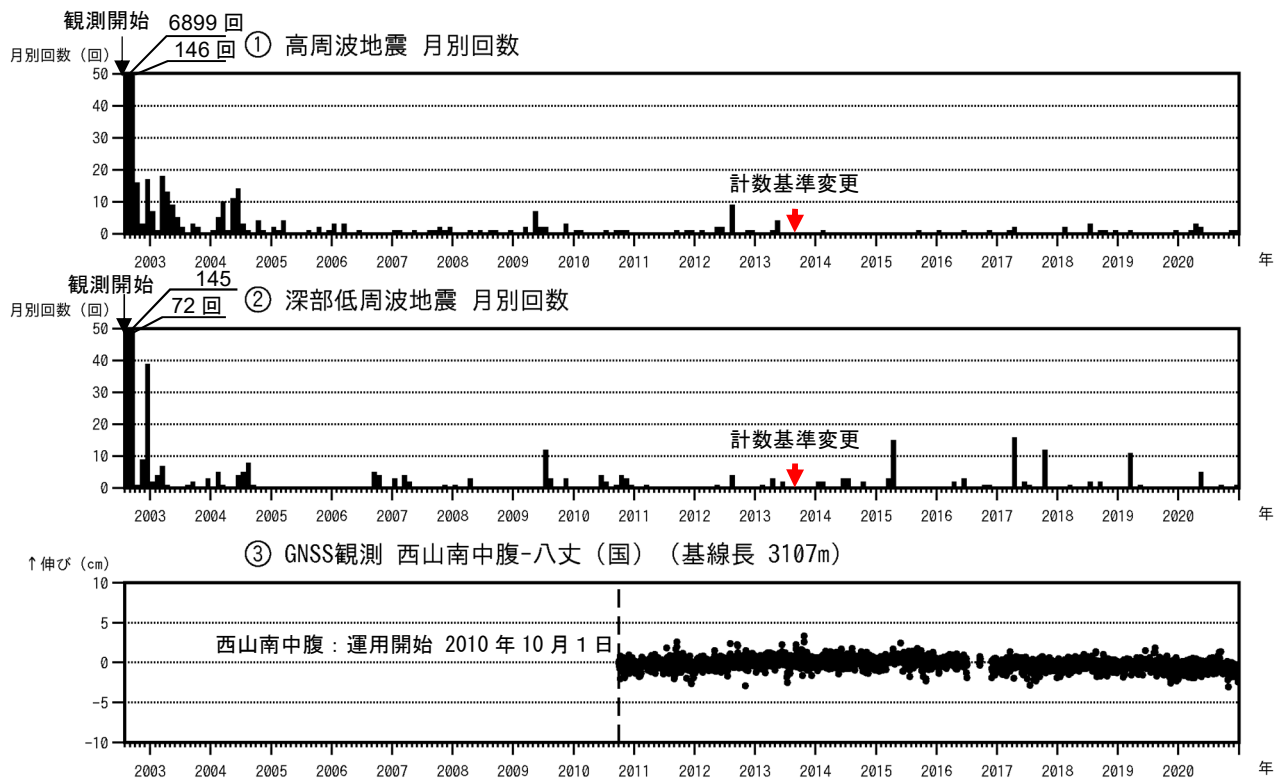


図2 八丈島 火山活動経過図 (2002年8月13日～2020年12月31日)

- ①、② 地震回数の計数基準は以下のとおり  
 2013年8月31日まで八丈島三根 振幅  $5 \mu\text{m/s}$  以上、S-P 時間3秒以内  
 2013年9月1日 から西山南東山麓 振幅  $2 \mu\text{m/s}$  以上、S-P 時間3秒以内
- ③ (国) : 国土地理院、図4の基線③に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。

- ・地震活動は静穏な状態で経過しています。
- ・GNSS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

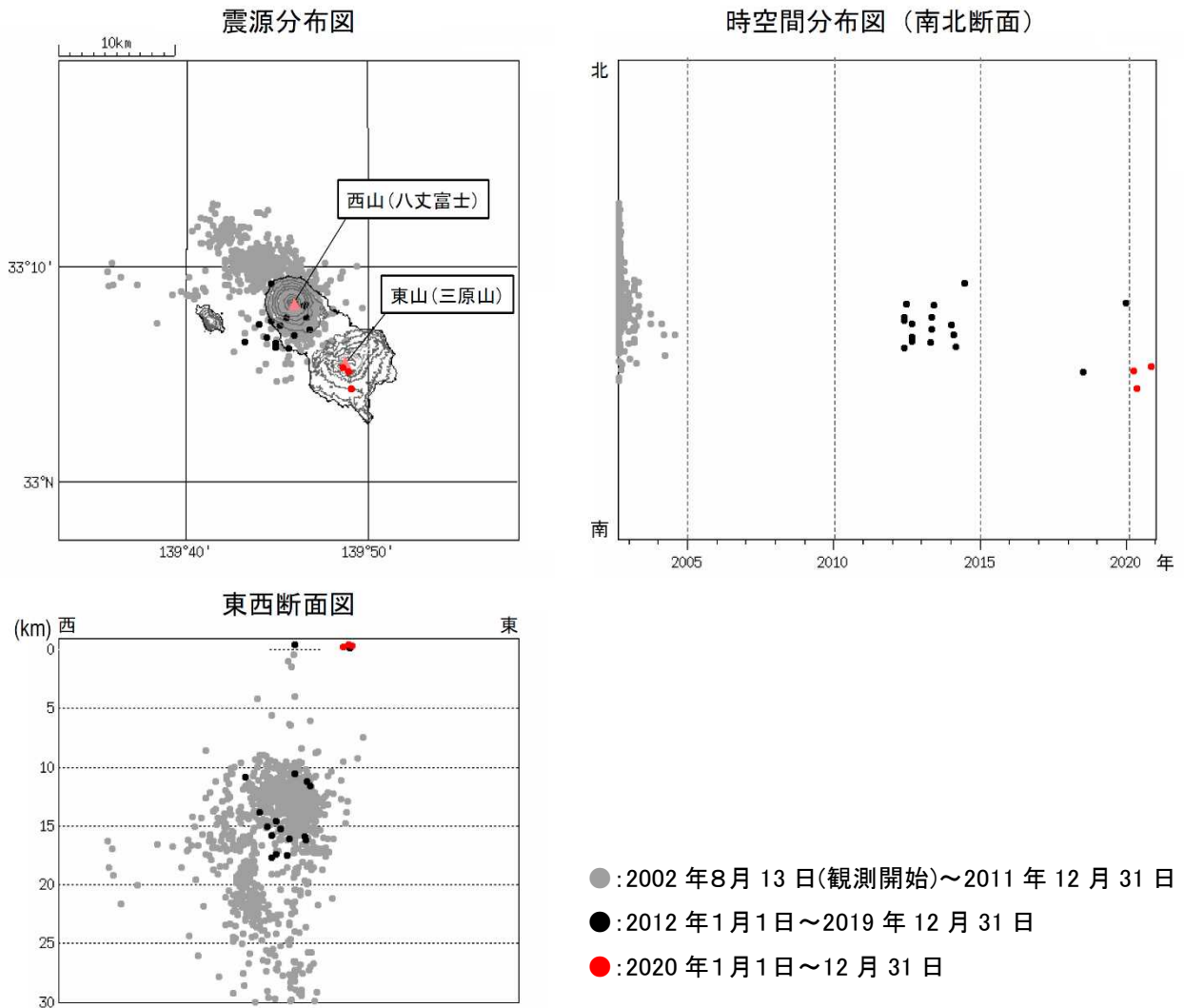


図3 八丈島 震源分布図（2002年8月13日～2020年12月31日）

・火山性地震の震源は、東山（三原山）直下の海拔0 km 付近に求まりました。



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国)：国土地理院、(防)防災科学技術研究所、(都)：東京都

図4 八丈島 観測点配置図

GNSS 基線③は図2の③に対応しています。

表1 八丈島 気象庁の観測点一覧

測器種類	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高(m)			
地震計	八丈島三根	33°06.92′	139°48.83′	70	0	1996.10.8	短周期及び広帯域地震計
	西山南東山麓	33°07.32′	139°46.77′	151	-48	2010.8.9	
	八丈島樫立	33°04.34′	139°47.86′	170	0	2009.4.2	
	西山南西中腹	33°08.04′	139°45.47′	595	-2	2016.12.1	広帯域地震計
傾斜計	西山南東山麓	33°07.32′	139°46.77′	151	-48	2011.4.1	
	西山東中腹	33°08.41′	139°46.34′	574	-15	2016.12.1	
空振計	西山南東山麓	33°07.32′	139°46.77′	151	2	2010.8.9	
GNSS	西山南中腹	33°07.89′	139°46.04′	510	3	2010.10.1	
監視カメラ	楊梅ヶ原	33°06.28′	139°47.08′	70		2010.4.1	